

泥水除去装置の開発

概要

豪雨災害で浸水した家屋内の土砂撤去はシャベルによる手作業が主流ですが（土嚢袋に詰める・運ぶ）、水分を含んだ土砂は極めて重く、ボランティアや被災者の身体的負担が限界に達しています。こうした作業の負担を軽減するため、泥水を効率よく吸引し、機動性に優れた「泥水除去装置」の開発に取り組んでいます。掃除機の原理を活用することによって土砂吸引から袋詰めまでを自動化し、重い土嚢を持ち上げずに取り出せる仕組みも構築しました。

過酷な土砂撤去を「機械操作」へと転換し、現場の負担軽減と復旧の迅速化に貢献します。現在は実証実験を経て、さらなる改良を進めています。



画像：泥水除去装置